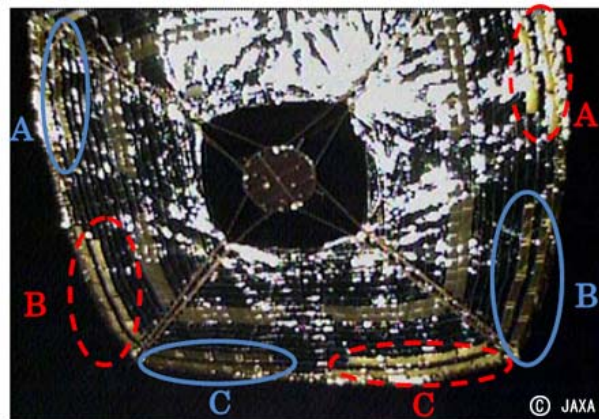
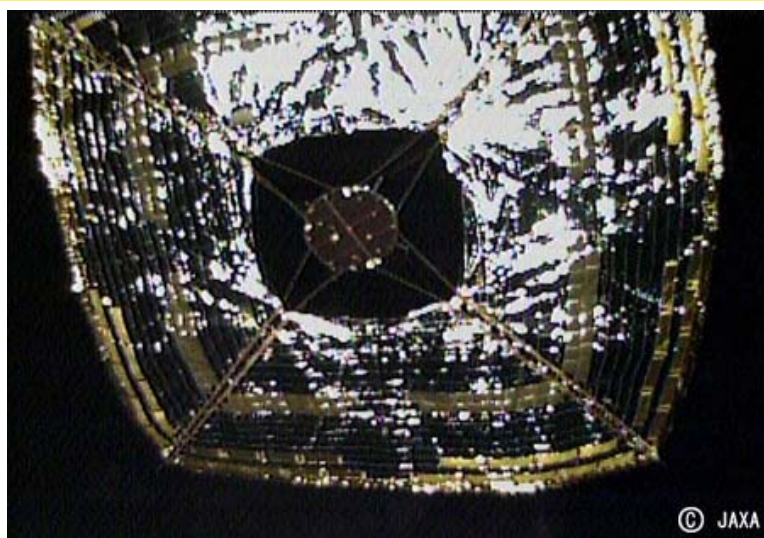


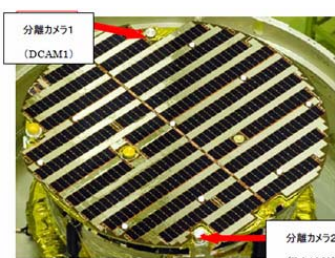
「IKAROS」二台目の 分離カメラも撮影成功！

ソーラーセイル(太陽帆)を展開した小型ソーラー電力セイル実証機「IKAROS」は、分離カメラ2(DCAM2)でのセイルの撮影に続き、6月19日に分離カメラ1(DCAM1)による撮影を行いました。

また、液晶デバイスの動作状況も、撮影した画像から確認することができました。液晶デバイスは電源のON、OFFにより太陽光の反射特性を変えることのできる装置で、これにより燃料を使わずとも姿勢を制御できることが期待されます。引き続き、ソーラーセイルに貼られた薄膜太陽電池による発電の状態を計測しソーラーセイルによる加速及びそれによる軌道制御の実証を行っていきます。



IKAROS(イカロス)が宇宙で撮影した画像／液晶デバイス動作状況



分離カメラ搭載位置

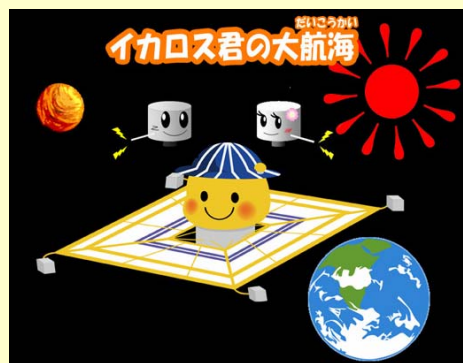


分離カメラ形状

分離カメラは直径約6cm 高さ約6cm の円柱形状で、バネにより本体から放出され、撮影した画像を無線で本体に送ります。

一度放出すれば二度と本体に戻ることはありません。今回分離したのは分離カメラ1で、前回分離したのは分離カメラ2です。

イカロス君の宇宙での活躍を物語にしました！



イカロス君がうちゅうでがんばっているようすをものがたりにしました。こどもたちにもイカロス君をきっかけに「がんばることのたいせつさ」や「うちゅうのふしぎ」についてきょうみをもってもらえると、うれしいです。IKAROS(イカロス)専門チャンネルで見られます。アドレスは下記のとおり↓